

IT Solution for You!

PCI Holdings, Inc.



PCIホールディングス株式会社

(東証1部：3918＝サンキュー<愛が>いっぱい)

2022年9月期 第1四半期決算説明資料

2022.2.21

ステークホルダーの皆様へ



当社は2005年に創業し、IT関連事業を営む連結子会社を傘下に置く**まだ若い純粋持株会社**です。ITをもって「**安心・安全・豊かな社会に貢献する会社**」を目指す、特徴のある企業が4つの事業領域を展開しております。

インベデッドソリューション事業では、**車載関係・自動運転(AD・ADAS)・EV**等の自動車関連の各種開発案件のほか、スマートフォンに関連する通信制御、重機・建機、デジカメをはじめとする情報家電等の組込みソフトウェアの開発、**VR/ARやAI**等の先端技術開発へのソフトウェア技術提供と研究開発、各種製造・検査機器等への企画・設計・開発・検査・製造・保守の**川上から川下までのワンストップソリューション**を提供しています。

ビジネスソリューション事業では、技術オリエンテッドな事業展開を強みに、金融や流通、製造業等の幅広い業種へのITシステムを提供し、**DX推進**にも貢献しています。

IoT/IoEソリューション事業は、電気通信事業者識別番号「**0067**」をTV応募やアンケート等で活用いただくサービス、LINEスタンプなどモバイルコンテンツを制作・配信する独自ブランド、位置情報を活用した効率的なITサービスの提供など特徴あるICTサービスのほか、サイバーセキュリティ領域へも注力しています。

半導体トータルソリューション事業は、大手半導体メーカー様に対し、LSI設計、テスト、評価等の半導体開発全般のサービスを提供しています。

当社は2020年11月に売上高300億円の挑戦的目標を掲げた**新中期経営計画「PCI-VISION 2023」**を発表しました。2021年1月には組込みPCの企画・設計・開発・検査・製造・保守を一気通貫で提供する**株式会社ソードがグループに参画**しました。これは「PCI-VISION 2023」に掲げた「ハードウェアとソフトウェアの融合による自社製品を提供し、**One-Stopソリューションを実現**」することにつながります。

これからも、**M&A戦略**を実行しながら、有言実行でさらなる成長を目指してまいります。

引き続きご支援のほど、よろしくお願いいたします。



代表取締役会長兼社長 天野 豊美

目次

エグゼクティブサマリー

- 1.2022年9月期 第1四半期決算報告
- 2.2022年9月期 業績見通しと株主還元
- 3.中期経営計画 「PCI-VISION 2023」
- 4.市場再編へのメッセージ
- 5.SDGs、ESGへの取り組み
- 6.Company Profile

売上高

5,877百万円

(前期実績 +2,080百万円)
(前年同期比+54.8%)

営業利益

230百万円

(前期実績 +213百万円)
(前年同期比 +1,271.3%)

親会社株主に帰属する
四半期純利益

215百万円

(前期実績 +203百万円)
(前年同期比 +1,625.0%)

【事業環境】

テレワーク導入企業の増加によるITインフラ整備・強化、非接触対応、医療ICT化促進、サイバー攻撃等の脅威に対する情報セキュリティ対策強化への**優先的なソフトウェア投資傾向**。IT投資需要は底堅く推移

【実行戦略】

社会全体の急速な**デジタル化・DX化の需要**を取り込み、**戦略的かつ積極的な受注活動**に注力

【事業成績】

2021年1月に子会社化した**株式会社ソード**が順調に業績寄与。**売上高、段階利益とも前期比大幅成長**

【計画推進】

2022年9月期が2期目となる**中期経営計画「PCI-VISION 2023」**を推進。選択と集中を目的とした**グループ内再編を実施**

2022年9月期
第 1 四半期決算報告



連結貸借対照表サマリー



- ・流動負債：未払法人税等299百万円、賞与引当金400百万円減少等により、**前連結会計年度末比247百万円減少**
- ・固定負債：長期借入金216百万円の減少等により、**前連結会計年度末比199百万円の減少**
- ・自己資本比率：**44.3%（前連結会計年度末は42.8%）**と改善

(百万円)	21/9期	22/9期 1Q
流動資産	11,198	10,833
現預金	3,310	2,966
売上債権	6,085	5,945
その他	1,802	1,921
固定資産	6,193	6,268
有形固定資産	946	957
のれん	2,299	2,295
その他	194	201
資産合計	17,391	17,101

(百万円)	21/9期	22/9期 1Q
流動負債	6,505	6,257
仕入債務	2,787	2,856
借入・社債	868	868
その他	2,849	2,533
固定負債	2,935	2,736
借入	1,925	1,708
退職給付に係る負債	135	170
その他	875	857
負債合計	9,441	8,993
純資産合計	7,950	8,107
負債純資産合計	17,391	17,101

連結損益計算書サマリー



- ・2022年9月期第1四半期より「収益認識に関する会計基準等」を適用
- ・結果、売上高42百万円減少、売上原価43百万円減少、営業利益・経常利益・税前四半期純利益1百万円増加

(百万円)	21/9期 1 Q	22/9期 1 Q	前年同期比
売上高	3,796	5,877	+54.8%
売上総利益	926	1,473	+59.1%
(売上総利益率)	24.4%	25.1%	+0.7pt
販管費	909	1,242	+36.6%
営業利益	16	230	+1,271.3%
(営業利益率)	0.4%	3.9%	+3.5pt
経常利益	42	253	+502.3%
(経常利益率)	1.1%	4.3%	+3.2pt
親会社株主に帰属する四半期純利益	12	215	+1,625.0%
(同利益率)	0.3%	3.7%	+3.4pt

事業別の概況

【新規取り込み】

好調な事業環境、ソード社の業績取り込み等で、ITソリューション事業の**エンベデッドソリューションが大幅伸長**

【事業別概況】

エンベデッド：**車載関連、重機・建機向け**案件好調。**医療向け**組込みPC等の開発、設計、製造収益も寄与

ビジネス：**社会インフラ構築**案件、**公共事業者向け**案件が好調に推移

IoT/IoE：**自動車向け**ソリューション堅調な反面、**通信事業が前年同期比減**

半 導 体：**既存顧客からの強い引合い**に加え、**基盤案件の追加受注**等が売上に寄与

(百万円)	売上高		セグメント利益	
		前年同期比		前年同期比
ITソリューション事業 (A+B)	4,830	+77.6%	126	+2,039.2%
エンベデッドソリューション (A)	3,025	+165.4%	-	-
ビジネスソリューション (B)	1,805	+14.3%	-	-
IoT/IoEソリューション事業	487	▲17.7%	29	- (※)
半導体トータルソリューション事業	576	+15.7%	73	+356.6%
合計	5,877	+54.8%	230	+1,271.3%

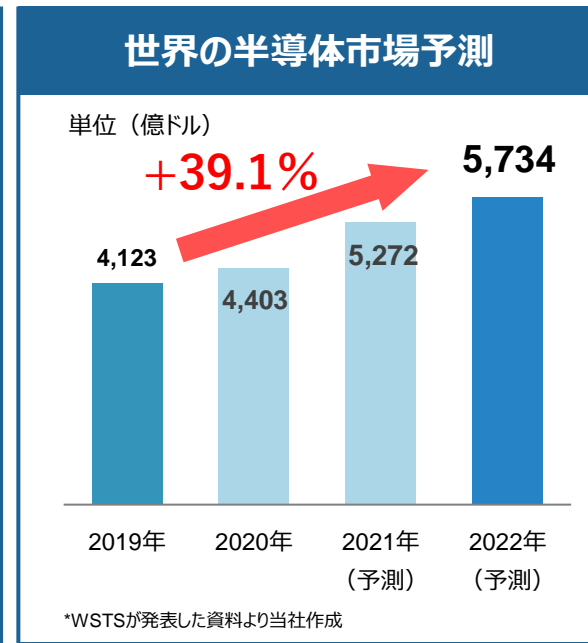
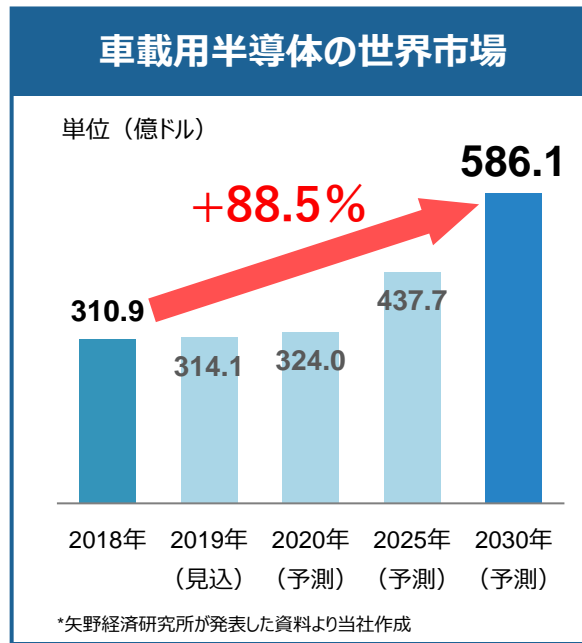
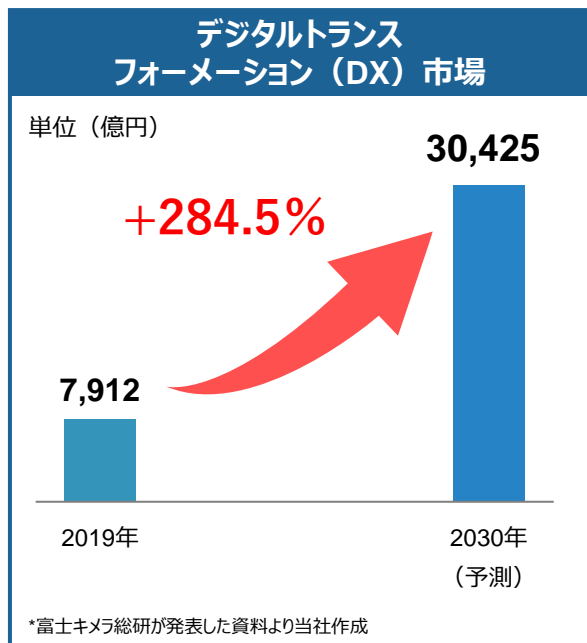
(※) IoT/IoEソリューション事業の前年同期セグメント利益は▲5百万円

2022年9月期
業績見通しと株主還元



事業別マーケット概況

- 社会のデジタル化はコロナ禍により加速し、DX市場は右肩上がりに推移
- 急速なデジタル化やEV化、自動運転の本格化により、車載用半導体などや半導体市場も長期的に好調に推移する見込みであり、ソフトとハード両面の市場が成長ターゲットとなる



2022年9月期業績予想 上期



- ・2022年2月7日「2022年9月期第2四半期（累計）連結業績予想の修正に関するお知らせ」開示
- ・**エンベデッドソリューション、ビジネスソリューションが好調に推移**。四半期純利益は**グループ内再編に伴う税効果**の影響

(百万円)	21/9期 実績	22/9期 予想	前期比
売上高	8,207	12,900	+57.2%
営業利益	372	670	+80.0%
(営業利益率)	4.5%	5.2%	+0.7pt
経常利益	394	685	+73.4%
(経常利益率)	4.8%	5.3%	+0.5pt
親会社株主に帰属する 四半期純利益	214	470	+118.9%
(同利益率)	2.6%	3.6%	+1.0pt
EPS	26.07円	46.77円	+79.4%

2022年9月期業績予想 通期

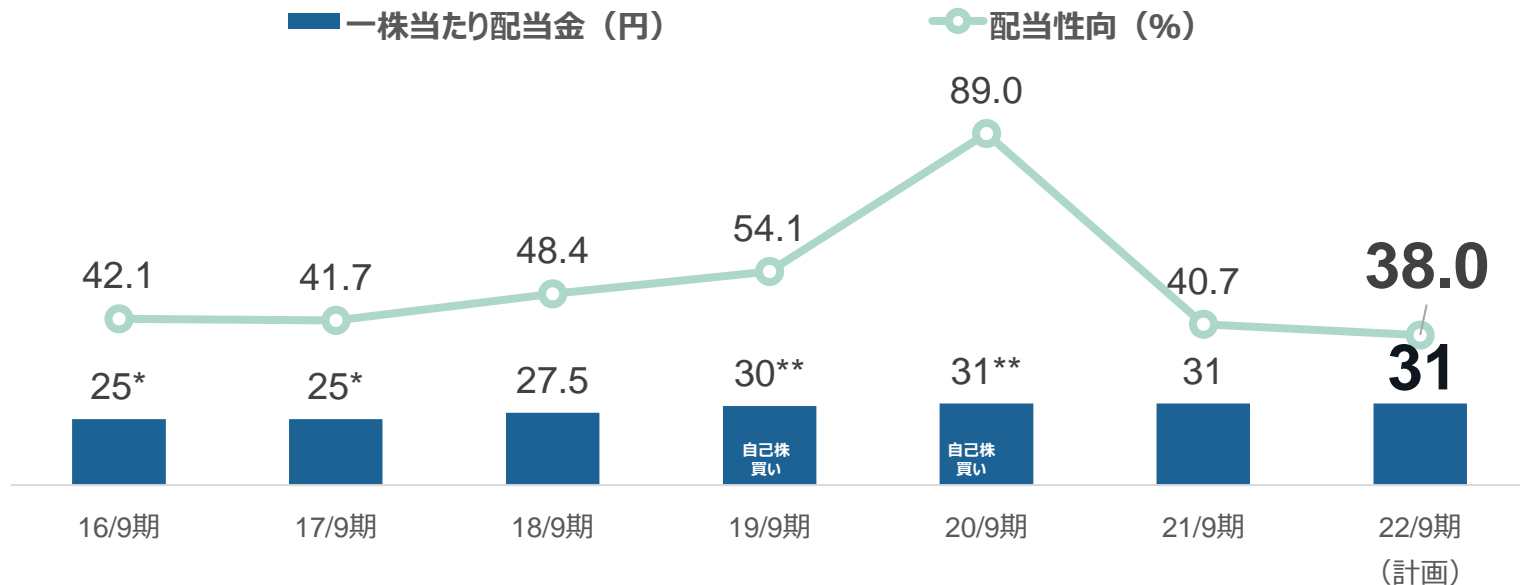


- 生活様式や働き方の変化、急速に進展するデジタル化・DX化の加速等による企業社会のIT投資は引き続き底堅い需要

(百万円)	21/9期 実績	22/9期 予想	前期比
売上高	21,248	26,500	+24.7%
営業利益	1,174	1,400	+19.2%
(営業利益率)	5.5%	5.3%	-0.2pt
経常利益	1,208	1,420	+17.5%
(経常利益率)	5.7%	5.4%	-0.3pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	669	820	+22.4%
(同利益率)	3.1%	3.1%	±0pt
EPS	76.12円	81.61円	+7.2%

株主還元について

- ・ 連結配当性向は30%~50%を目安に設定、上場来30%超を維持
- ・ 安定した配当を継続しながら、総合的な還元の向上を目指す
- ・ プライム市場を目指し、企業価値のさらなる向上に向けた施策を積極的に実施



*16/9期は記念配を含む (記念配 16/9期: 5円)

**自己株式取得の実績 18/9期: 約1.4億円分の取得 19/9期: 約2.3億円分の取得

***2016年4月1日付で1:2、2020年4月1日付で1:2の株式分割を実施、グラフは当該分割を遡及して修正

中期経営計画 「PCI-VISION 2023」



ソフト・ハードを問わず、 顧客のあらゆるITニーズに対応する ワンストップソリューションの確立

エンベデッドソリューション
製品設計・テスト
企画・製造・販売・保守



ビジネスソリューション
ITサービス、IoT/IoE
サイバーセキュリティ

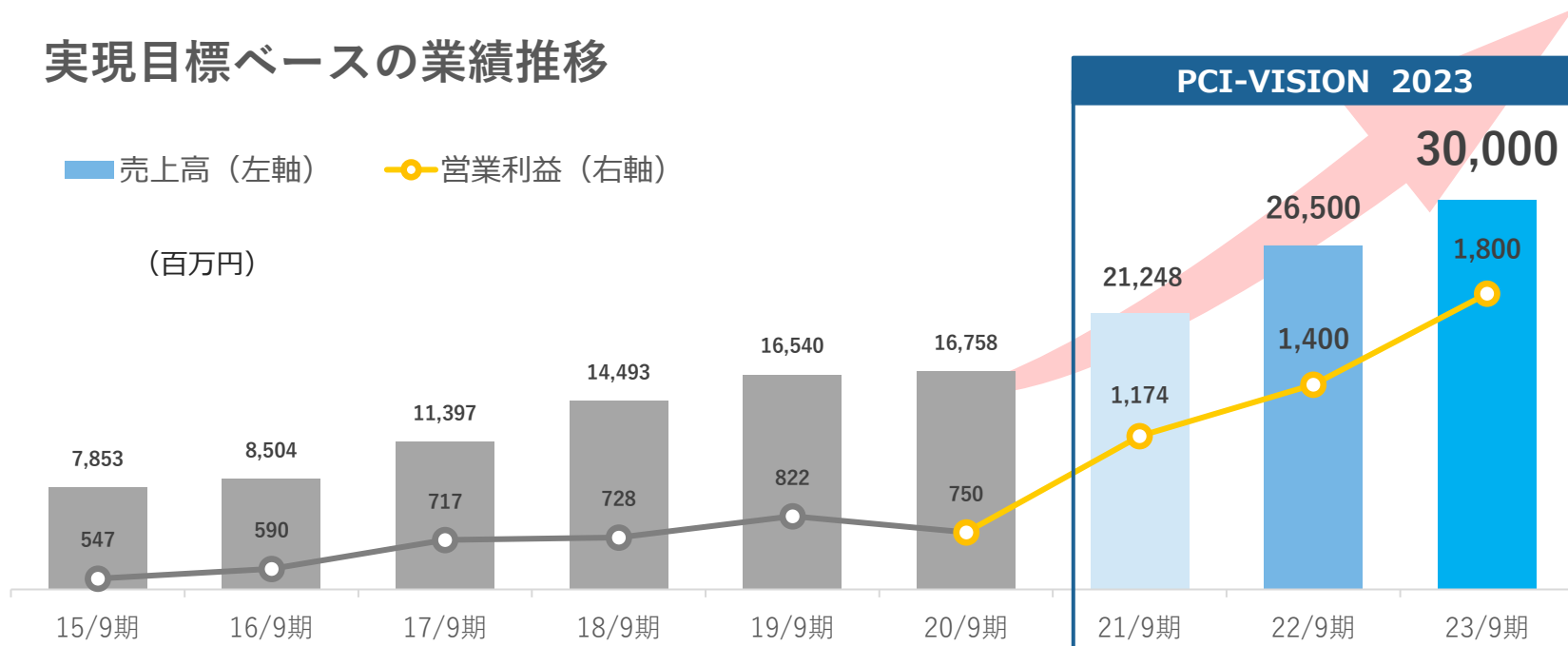
M&A、業務提携、顧客ニーズに応える豊富な人財

中期経営計画目標値を挑戦目標から実現目標へ変更



- 目標への挑戦で大きな飛躍へ→売上高300億突破を目指す！
- 2021年1月の株式会社ソードの完全子会社化により、売上高300億円、営業利益18億を「挑戦目標」から「実現目標」へ移行

実現目標ベースの業績推移



中期経営計画「PCI- VISION 2023」 定量目標



(百万円)	2021.9 実績	2022.9 計画	2023.9 計画
売上高	21,248	26,500	30,000
営業利益	1,174	1,400	1,800
親会社株主に 帰属する当期利益	669	820	1,050
1株当たり純利益 (円)	76.12	81.61	104.5
ROE	10.7%	10%以上	12%以上
連結配当性向	40.7%	38.0%	30%~50%
連結純資産配当率	4.6%	4.0%以上	

① システムエンジニアリングサービス事業の規模拡大・質的向上

→コロナ禍から需要は回復企業。スマートシティ事業への参入開始など、デジタル社会の先端案件獲得へ

② 最適な自社ブランド製品/ソリューション/サービスの創出

→AI等、先端技術の深耕およびワンストップソリューション提供体制の確立を進める

③ サイバーセキュリティ関連事業の推進

→「AppGuard®」の拡販、その他ソリューションラインアップの充実へ

④ 業務提携先との更なる連携強化及び積極的なM&Aの推進

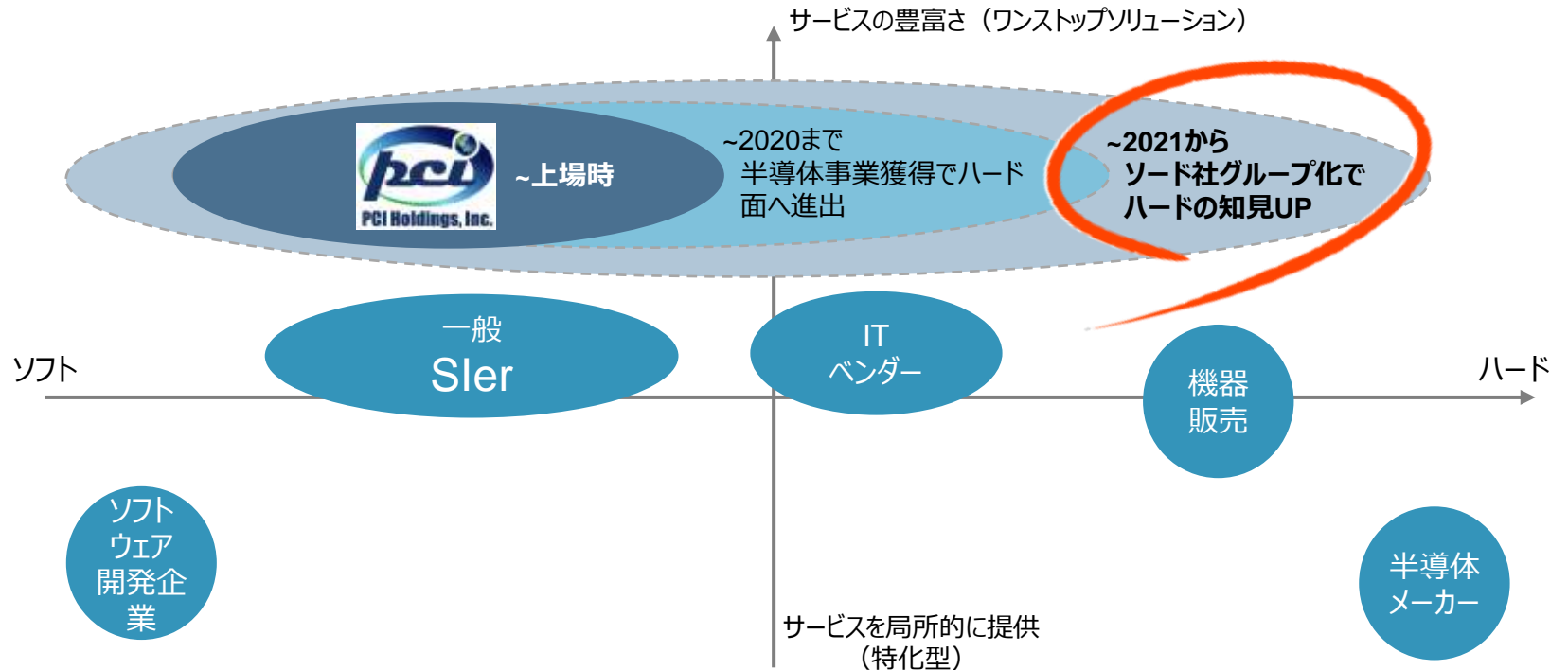
→既存提携先との連携強化、および当社事業とシナジー創出が見込まれる企業の発掘、M&Aの推進

⑤ 組織体制の強化及び働き方改革の推進

→人財採用及び教育の強化とともに、働き方改革を推進

注力領域と将来的な業界ポジショニングの展望

- ソフトとハードの両面に拡大することにより、ITサービスにおけるワンストップソリューション提供体制を強化、他社との差別化を図る

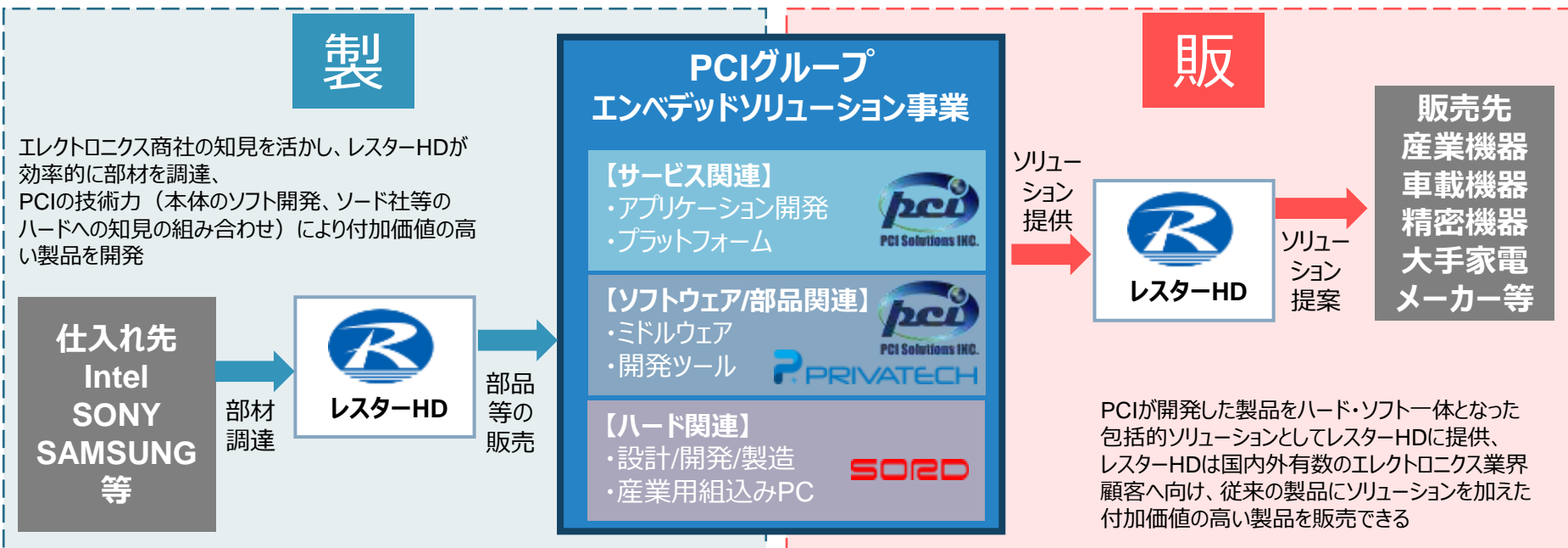


レスターホールディングスとの協業による製販一体構想



- ・ エレクトロニクス商材に強いレスターHDより調達した部材をもとに、当社のソフト・ハードの知見を踏まえた高付加価値の製品を開発、レスターHDと繋がる国内外大手の販売先へ販売することで、**製販一体のワンストップソリューション**が可能となる

レスターHD社との協業により、製販一体のワンストップソリューション提供へ！



市場再編への取り組み



プライム市場を選択する意向を正式に表明



- 2021年12月14日
「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」提出
- 2022年4月に予定される株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、**プライム市場を選択する意向を正式に表明**
- 当社グループの**更なる事業の発展、持続的な成長・中長期的な企業価値の向上**において、以下の観点からもプライム市場への上場がベストな選択と判断。
取引先／金融機関からの信頼維持、株主／投資家からの評価、
グループ従業員のモチベーション、今後のM & A戦略の推進 等

プライム市場上場維持基準に対する現状と対策計画期間



【上場維持基準の適合の状況】

プライム市場の上場維持基準のうち、「流通株式数」、「流通株式比率」、「売買代金」は充足。

「流通株式時価総額」のみ不足。

	プライム市場 上場維持基準	当社数値	判定
流通株式数	20,000単位以上	68,464単位	○
流通株式時価総額	100億円以上	93.0億円	✓
流通株式比率	35%以上	80.3%	○
売買代金	0.2億円以上	1億1千万円	○

※「新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果について」（2021年7月9日）より当社作成

【計画期間】

流通株式時価総額基準を充足するための計画期間は**中期経営計画「PCI-VISION2023」の最終事業年度**となる**「2023年9月期末」**まで。

流通株式時価総額基準充足に向けた基本方針



【基本方針】 **流通時価総額 = 時価総額 × 流通株式比率**

◆流通時価総額増大

→ 中期計画を確実に達成し、適切なガバナンスのもと、投資家の皆様への説明を平易にかつ積極的に実施

①中期経営計画の確実な達成

②ESG経営／サステナビリティへの取組

③IR活動の強化

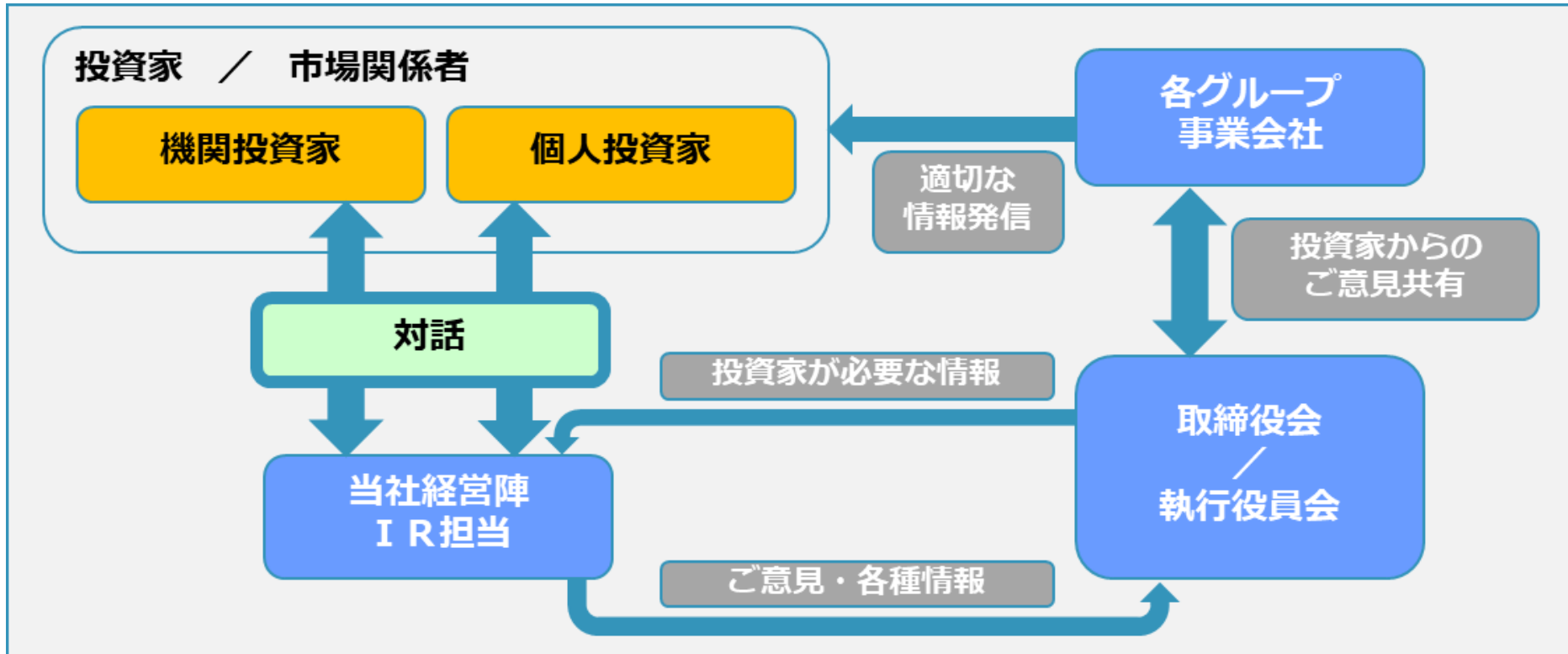
④株主還元の充実

◆流通株式比率向上

→ 既に高い水準にあり、積極的な取組の実施予定はなし

IR活動の強化～投資家との対話の推進とフィードバック

【投資家との対話】 IR活動で得られたご意見や情報が、**経営/事業に反映される仕組み**を構築



PCI's SDGs



当社グループの取り組むSDGsの方針

- ・ 当社グループは I T をもって「**安心・安全・豊かな社会**」へ貢献し、事業活動と企業活動の両面から 4 つのテーマで SDGs に取り組みます。

安心・安全・豊かな社会



事業を通じた貢献

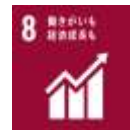
企業としての貢献

IoTでつながる社会が
生み出す『安心・安全』

当社グループのネット
ワークを生かした貢献

M&Aを通じた産業と
技術革新の基盤づくり

蓄積された知見の提供
による次世代育成



「安心・安全・豊かな社会」を目指して



- ・「安心・安全・豊かな社会」への貢献を基軸に続けてきた社会活動を、これからも継続します
- ・「2050年カーボンニュートラル」の実現に向けた取り組みを、これからも継続します

CSR

ESG

SDGs

2015

マザーズ上場

2016

東証一部上場

2017

2018

2019

2020

2021

2014.5 スポーツ振興、青少年育成

2014.9 国連WFPの支援

2016.1 非常時のアドホック通信ネットワークの活用に関する研究会

2016.12 Dolphin Breeding Projectの支援

2017.2 立教池袋中学校・高等学校数理研究部の活動サポート

2017.3 「熊本城災害復旧支援金」への寄付

2018.1 地方創生と人づくりを目的とした包括的 ICT 連携（山形県村山市）

2018.10 学生投資連合USIC 主催イベントへの参加・協賛

2021.2 ドローンを活用した太陽電池発電所の
点検業務高度化の実験開始

2021.4 点字名刺プロジェクトの支援

2021.4 OpenVino™*を利用した安心・安全な
サービスに向けたAIによる車両検知開発

*OpenVino™：Intel社が提供するインテルが提供するCPU、内蔵GPU、インテル®FPGA、インテル®Movidius™VPUといったさまざまなハードウェアでディープラーニング推論をより高速に実行するためのソフトウェア開発環境

当社のサステナビリティ課題への取組方針

- 基本方針：持続可能な社会の構築／実現に向け、事業活動と企業活動の両面から、意識的かつ積極的に社会課題の解決に貢献してまいります。

	ESGの主要テーマ (重要課題)	関連する 主なSDGs	当社の取組 (方針／具体的取組)
 E Environment	地球温暖化対策 ／ 資源循環社会		<ul style="list-style-type: none"> ■ITソリューションによる環境負荷低減への貢献 <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電施設の点検効率化ソリューション ・電気自動車発展のためのソリューション ・スマートシティ事業への技術参画 ・生態系の保護のためのソリューション・etc.
	安全で持続可能な社会		<ul style="list-style-type: none"> ■ITを活用した安心・安全、便利な街づくり／人々の健康的な生活への貢献 <ul style="list-style-type: none"> ・後方車両検知ソリューション ・除雪状況監視ソリューション ・見守りソリューション ・健康リスク検知ソリューション・etc.
 S Social	イノベーションと 経済成長		<ul style="list-style-type: none"> ■研究開発／M&Aを通じた産業と技術革新の基盤構築 <ul style="list-style-type: none"> ・技術／ソリューション強化のための研究開発投資 ・先進技術協議会の設置／充実 ・様々なITニーズへの対応を可能にするためのパートナー戦略の推進
	雇用と人材活用		<ul style="list-style-type: none"> ■蓄積された知見の提供による次世代人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・学校／学生団体教育支援 ・IT技術・スキル習得支援による高次元人材の育成（「人材育成方針」の策定） ・職場環境／働き方改革の推進（「社内環境整備方針」の策定） ・ダイバーシティ推進による全ての社員に平等な機会提供、育成、登用の実現
 G Governance	適正なコーポレート ガバナンス体制		<ul style="list-style-type: none"> ■コーポレート・ガバナンスの充実 <ul style="list-style-type: none"> ・コーポレート・ガバナンスコードへの対応 ・リスクマネジメント／コンプライアンス（法令順守） ・適正な情報開示と透明性の確保 ・説明責任

Company Profile



当社が手掛ける4つの事業領域

- ソフトウェア開発から半導体事業まで、ソフトとハードにまたがる横断的な4事業を展開、ソフトとハード、両面に知見・技術力を有するのが当社の強み

ソフト重視

ハード重視

ビジネスソリューション事業



金融、製造業、官公庁系など、社会のインフラを支える幅広い業態のITシステムを構築

■ 関連市場
ソフトウェア開発、DX等、ICT投資全般

エンベデッドソリューション事業



自動車、情報家電、モバイル端末や医療用MRI等に組み込まれるソフトウェア開発並びにハードウェアの設計・テスト・企画・製造・販売・保守

■ 関連市場
DX、IoT、自動車、半導体、医療等

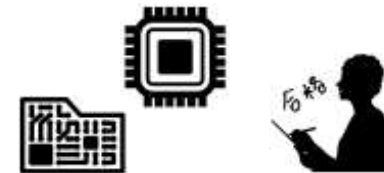
IoT/IoEソリューション事業



自動車業界やエネルギー業界向けのIoTソリューションを開発。位置情報やAR/VR技術の応用も行う

■ 関連市場
IoT、通信、エネルギー、AR/VR等

半導体トータルソリューション事業



情報社会に必須の半導体分野において、設計からテスト等、開発全般にかかわるサービスを提供

■ 関連市場
半導体、IoT、通信等

会社概要



商号	P C I ホールディングス株式会社 (PCI Holdings, Inc.)	資本金	20億9,189万円 (2021年9月末現在)
設立	2005年4月	売上高 (連結)	21,248百万円 (2021年9月期実績) 26,500百万円 (2022年9月期予想)
上場	東京証券取引所市場第一部 (証券コード：3918)	営業利益 (連結)	1,174百万円 (2021年9月期実績) 1,400百万円 (2022年9月期予想)
所在地	〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目21-19	従業員数 (連結)	1,636名 (2021年9月30日現在)
代表者	代表取締役会長兼社長 天野 豊美	連結子会社	P C I ソリューションズ (株) (株) ソード (株) りーふねっと (株) シー・エル・シー (株) プリバテック

役員体制・拠点一覧



役員体制

役職	氏名	経歴等
代表取締役会長兼社長	天野 豊美	日本エヌ・シー・アール(株) 常務取締役 (株)しんきん情報システムセンター 理事
常務取締役	堀部 保弘	(株)三菱総合研究所 執行役員ソリューション事業本部統括室長 P C I ソリューションズ(株) 代表取締役
常務取締役	岡 丈嗣	(株)りーふねっと 代表取締役 一般社団法人 日本ユニファイド通信事業者協会 (JUSA) 副会長
取締役	横山 邦男	(株)三井住友銀行 常務執行役員法人部門副責任役員 三井住友DSアセットマネジメント(株) 代表取締役社長兼CEO 日本郵便(株) 代表取締役社長執行役員社長
取締役	井口 直裕	Profit Cube(株) 経営企画室長 取締役経営企画本部長
取締役	杉園 和也	Profit Cube(株) 財務経理室長 取締役管理本部長
社外取締役 (常勤監査等委員)	宮原 譲	トランスコスモス(株) システムソリューション本部長取締役
社外取締役 (監査等委員)	佐藤 貴則	東京弁護士会 副会長 やまぶき法律事務所 代表
社外取締役 (監査等委員)	高原 明子	三菱商事(株) ウオンテッドリー(株) 社外取締役 (監査等委員) (株)ビッドガーデン 監査役
社外取締役 (監査等委員)	牧 真之介	牧真之介公認会計士事務所 代表 税理士法人MSパートナーズ 代表社員

P C I グループ拠点



Positively, Change, Innovate

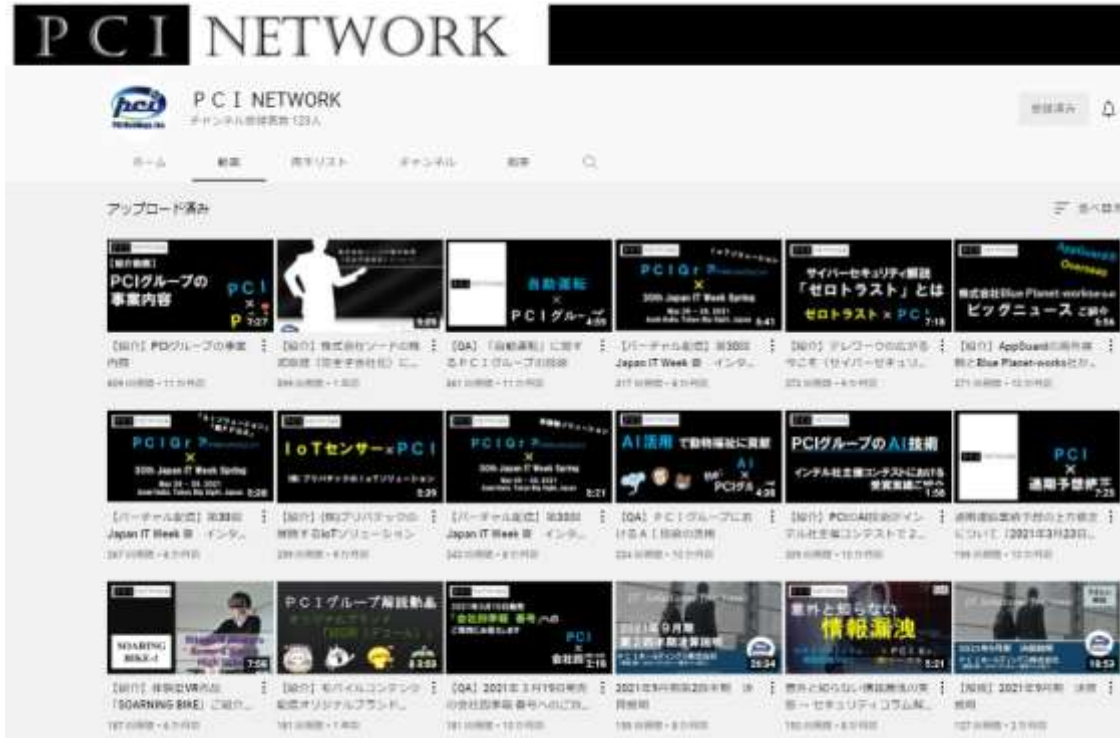
～積極的に、変化と革新をし続ける～



YouTubeチャンネル「PCI NETWORK」をスタート！



2021年2月より、自社スタッフが制作・配信するYouTubeチャンネルを開設。
IRリリースの背景や事業内容・Q&Aやトピックスを紹介しております。



チャンネル登録、
ご視聴はこちら
[>> チャンネルへ](#)



本資料のいかなる情報も、弊社株式購入や売却などを勧誘するものではありません。

本資料に記載されている業績予想及び将来の予測等に関する記述は、
資料作成時点での入手された情報に基づき弊社で判断した予想であり
潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いかねますのでご承知おき下さい。

IR動画はこちら→
(またはこちらをクリック)



お問い合わせ先

PCI ホールディングス株式会社 IR・広報室

E-mail ir@pci-h.co.jp